

# 歯科診療所で行う主なエックス線写真撮影の種類と目的

皆さんが歯科診療所を訪れるきっかけは何ですか？ 定期的なメンテナンスでしょうか、それとも痛むところや気になるところがある時でしょうか。状態の把握に必要な医療面接、視診などが行われた後に、エックス線写真撮影(レントゲン撮影)を勧められることがあると思います。エックス線写真の撮影、読影、診断は歯科医師が行いますが、フィルムのセットや位置決め、患者さんのレントゲン室への誘導は歯科衛生士が行うこともあります。以下に歯科診療所で取り扱う主なエックス線写真の種類とその目的についてお伝えいたします。

## ① 口内法エックス線撮影(デンタル)

う蝕(むし歯)、根尖病巣(歯根の先端の病気)、歯周病の検出と病態の把握に利用します。顎骨の中に発生した嚢胞、腫瘍、炎症の広がり、歯槽骨の骨折の有無を詳細に観察したい時にも使用されます。通常、下に述べる②のパノラマエックス線撮影よりも鮮明な画像が得られることから、パノラマエックス線撮影で全体

を、デンタルで部分を詳しく見るといって併用するのが一般的です。



デンタル

## ② パノラマエックス線撮影

歯列全体、顎関節を含めた顎の骨全体、鼻腔、副鼻腔を一枚の断層写真として撮影するものです。例えば歯周病は、歯根を支えている骨が徐々に吸収されてしまう疾病ですが、どの部分の骨が、どの程度、どのように吸収されているのか、全体を把握するのにこの撮影法は優れています。

他の例をあげますと、下顎の骨の中には下顎管という太い管が後方から前方に走行していて、重要な神経と

血管が通っています。下の親知らずの抜歯の際、この



パノラマエックス線

下顎管と親知らずの距離が離れていて安全に抜歯できるか調べるのにもこの撮影法は有効です。また、広い範囲を写すことができますので、患者さん本人が自覚されて

厚生労働大臣許可番号 13-コ-302400

歯科衛生士の  
就職・転職は  
クオキャリア  
**Quacareer**  
WEB/求人誌/就職イベント

＼ 転職・復職希望の方大歓迎 /

**秋のDH就活フェス**

厳選優良求人が集結/参加無料/感染予防対策実施

名古屋 10/4日 東京 10/25日 大阪 11/1日

最新情報はWEBをチェック

クオキャリア 検索

https://www.webqua.jp  
03-5927-9442 (平日11:00~18:00)

株式会社クオキャリア 〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-46-3 いちご大塚ビル 6F

いなかった骨にできる腫瘍等の病変が偶然に見つかることも稀ではありません。撮影により早期の処置が可能となったり、起こるかもしれない症状に備えたりすることができます。さらに鼻腔の炎症を調べたり、顎関節の形態

から顎関節症の診断に用いることもあります。このようにパノラマエックス線撮影は、非常に多くの情報を得ることのできるレントゲン撮影法と言えるでしょう。

### ③ 頭部エックス線規格撮影

規格化された方法で広範囲を撮影し、頭部の形態の計測、骨の形態異常の診断と治療経過の把握に利用し

ます。主に、矯正歯科での診断と計測に用いられます。



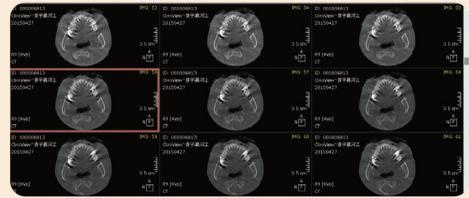
頭部エックス線

### ④ コンピューター断層撮影(CT)

口腔顎顔面領域の疾患に対してより多くの情報が得られる有用な撮影法です。埋伏歯(顎の中に埋まっている歯)の位置確認、歯根の破折、歯槽骨の吸収を三次元的に把握することができます。インプラントを入れる位置や方向を決めるための術前検査や、術後の具合を調べる検査にも用いられます。

①～③の撮影法は、奥行きや厚みは分からず、2つのものが重なってしまうとそれがどのくらい離れているか等の位置関係を判断するのは困難です。それに対してCTは多

方向からエックス線を照射し、コンピュー



CT

ターで画像を合成しますので、上下方向、横方向、前後からの投影を見ることができ、親知らずと下顎管の距離や位置関係、嚢胞の大きさや形態などをより正確に把握することができます。①、②の撮影で判断が難しい場合や、より多くの情報を得たい場合に適した撮影法と言えるでしょう。

最後にそれぞれの放射線量をお伝えします。

- ① 口内法エックス線撮影1枚 0.01ミリシーベルト
- ② パノラマエックス線撮影1枚 0.03ミリシーベルト
- ③ 頭部エックス線規格撮影1枚 0.03ミリシーベルト
- ④ コンピューター断層撮影(CT) 0.1ミリシーベルト

例として東京とニューヨークを飛行機で往復した時に、宇宙から浴びる放射線量は0.19ミリシーベルトだそうです。正しい診断をする上で、エックス線写真から得られる情報は大変重要で不可欠なものなのです。

(公益社団法人日本歯科衛生士会 診療所委員会)